

株式会社木山製作所

部品加工の技術で常に社会から必要とされる企業であること

【会社概要】

■商号

株式会社木山製作所

■所在地

・松戸本社工場

〒270-2214

千葉県松戸市松飛台 218

TEL：047-311-2671

FAX：047-311-2672

・柏工場：柏市高柳

■代表者名

代表取締役社長 木山 智英

■資本金 2,000万円

■設立 1969年5月

■創業 1946年4月

■事業内容

①切削技術による、金属の部品加工

②金属部品の海外からの輸入販売
(17%)

■社員数

32名 (パート社員5)

平均年齢：37.4才

(正社員のみ：35.4才)

■強み

①難削材に特化

ステンレス、チタン、インコネル、
ハステロイなど

②複合加工に対応

NC旋盤とマシニングセンタを組
み合わせた加工が得意

③技能士

- ・1級技能士8名
- ・2級数名

④育成システム

製造部員(1級技能士含む)の
95%は文系出身。
入社後に技術習得

⑤売上依存率

売上10%程度を占めるお客さん
3社、その他は5%以下

⑥海外とのコラボ

提案の幅の広さ

■スピーカー

取締役社長 木山 智英

○自己紹介

- ・ 1 級技能士（数値制御旋盤）
- ・ 年齢 49 歳
- ・ 墨田区生まれ、浅草育ち、
文京区根津在住
- ・ 妻一人 息子一人 犬二匹
(5 人家族)
- ・ 仕事
すべて自分の責任で、ゼロから作り上げていく『経営』という仕事は楽しい
- ・ 音楽家
ファンクバンドのベーシスト。ライブハウスやジャズフェスで活動。
- ・ 祭り
神輿の時期になると、血が騒ぐ
- ・ スキー
一昨年、1 級を取得
- ・ 海大好き
素潜り好き、最近人知れず波乗りを始めてみたけど...

おかげさまで、あまりストレスは溜めない生活は送れています！

テーマ：

業界のこと... モノづくりについて

1. プロセスとしての『モノづくり』

『料理』のプロセスで考えてみよう！

- ・ 夕飯何にしよう→麻婆豆腐→レシピ

(検

索) →材料準備→料理する→配膳→いただきます！！

さて、どこからどこまでが、モノづくり？

- ①腹減った、飯何にしよう→②麻婆豆腐→③レシピ（検索）→④材料準備→⑤料理する→⑥配膳→⑦いただきます
- A)①→②ニーズを具体的なイメージに
- B)②→③イメージを情報へ
- C)③→④情報を形にするための準備
- D)④→⑤設備を使って実際のモノづくり
- E)⑤→⑥消費に繋げるための行為
- F)⑥→⑦消費（満足へ）

つまり、

欲求→アイデア→形→届ける→消費では、

- A)〇〇な携帯電話が欲しい
- B)iPhone △△（機能の特定）
- C)作り方（図面）
- D)材料の準備
- E)加工
- F)組立
- G)梱包・輸送
- H)消費者へ

モノづくり、といえば一般的にCDEF

Gを指す（機械加工・組立・完成品の性能試験）。Bとは切り離れて考えることが多い（デザイン・設計・開発）。

モノづくりの現場とは、デザイナー、設計者が書いたイメージを、実際の形にする人。オーケストラに例えるなら

- ・作曲者…設計者
- ・演奏者…各機械で加工したり、組み立てたりする人
- 指揮者…工場の責任者

工業製品のモノ作りとは、高い「品質という信頼」を作る（形にする）ところ。演奏者は楽器の演奏を通して、作曲者の書いた譜面を、コンサートホールで音という形にする。それによってお客さんに感動を届ける。同じように、製造業はモノづくりを通して、設計者（デザイナー）の描いた図面を、工場で具現化。そこに品質を作りこむことで、安心・安全な社会を作る。

モノづくりとは、理想を形にすること。『理想を手』それがモノづくり。

2. 『部品』の役割

モノづくりの中でも、私たちは「部品を作る」という仕事をしています。

◆機能部品と外装部品

- ・機能部品…その中身（機械がちゃんと動く状態）高精度を要求される
- ・外装部品…ボディー（車、携帯…）

機能部品は、普段目にするには無い。

元来、影の存在である『部品』、さらに普段の生活では目にしない『機能部品』。

機能部品が理想通り、設計通りの機能を発することで、機械は求められる欲求を満た

す。

○映画制作に例えるなら

- ・原作者→製品デザイン
- ・脚本家→完成品の設計図
- ・演出家→部品図面
- ・俳優→部品
- ・カメラ・音声機材→部品を加工する為の機械

主演俳優が外装部品、名脇役は機能部品??工業製品の中の部品。役者のように、スポットライトを浴びることは無い。でも、俳優それぞれの高い演技力が、良い映画を作るように、部品の高い品質が、機能性の高い工業製品を作る。

- ・機械が正しく動く⇒あたりまえのこと
- ・機械が正しく動かない⇒部品が悪い

3. 切削加工 について

部品加工の種類

- ・成形・鋳造・粉末冶金
- ・鍛造・圧延・ヘラ絞り
- ・プレス・ベンド
- ・切削・研磨
- ・レーザー・ウォータージェット
- ・表面処理・熱処理
- ・溶接
- ・3Dプリンター

塑性加工、除去加工、せん断加工…
私たちが専門にするのは「除去加工の中の、切削加工」材料の塊を削って、目的の形にする技術です。彫刻・陶芸

4. 旋盤 マシニングセンタ

◆必要な技術

- ・機械自体の精度維持
繰返し位置決め精度 0.02 mm
- ・最適な条件を加味した加工プログラムの作成
材質、速さ、1回の切込み量、形状
- ・加工プロセスに合わせた工具の選択
形状、材質
- ・工具の取り付け方
0.01 mmを決める
- ・品質⇔コストの工程設計
早く作る→品質は大丈夫？
遅く作る→コストがかかる
- ・定方法の決定
⇒問題！！
一級技能士まで、おおよそ 10 年の道のり。

5. 地域特性：千葉？

- ◆私たちの仕事、地域性は全く関係なし
でも…「できれば近くから買いたい」というニーズは少なくない。
- ◆求められていること
トラブル時の対応力
近く→すぐ動ける、動いてくれる、対応してくれる会社 が本音

6. 学生に伝えたいこと

22 歳からの 5 年間で人生決める。だから、アルバイト、派遣はやめて！
なぜ？⇒アルバイト・派遣が経験できる社会的責任はとても低い。あなた達はバイト

を一生懸命やって褒められているかもしれないけど、社会的意義、経済的価値からしたら、非常に低いレベルでの話。たくさんのが吸収できる 20 代前半に、社会的意義の低い経験はもったいない。できる限り社会的に意義のある責任ある仕事に、若いうちに付けるか。この経験数で 30 代が大きく変わる。その道に進めれば、40 代以降は努力すれば上に上がれる。

でもやりたいことが何か、なんて分からないでしょ。あなた達はそれを見極める見識がない。だったら、質より量。質を求めてフラフラしているより、量をこなせば、必ずその先に自分のすべき社会的意義が見えてくる。必ず。

だから、何となく良いかな、と感じたら、正社員で就職して、がむしゃらに働け。同期の三倍働くつもりで。そうすれば、30 歳から一気に花が咲く。それは会社内の出世ではなく、人間として。そこで得た経験と育まれた人間性は転職しても十分に価値が高い。

社会的意義のある経験の量を、22 歳からの 5 年で以下に積めるか、が人生を作る。
就職活動、頑張るって！